

市政ウォッチング・市民会議 傍聴報告(要旨)です。

( )などは、報告者の注記したものです。

**21年度・第1回 春日井市・特別職報酬等審議会**

22年1月12日(火)・午後2時～3時25分

傍聴者 は 1名。5階 会議室にて

14:00 開会挨拶(部長) → 出席お礼

14:01 委嘱状交付 → 市長より各委員へ交付。

14:02 市長挨拶 → 毎年お願いしているので今年も宜しく。→市長一時退席

14:03 審議会についての説明(部長)→市長・副部長については、常勤のため「給与」、議員は非常勤のため「報酬」の答申となる。(その他、条例や要綱について説明)

14:09 会長選出 → 「清水勲委員を」との声があり、異議なく決定。

14:10 会長挨拶→ 新聞報道等見ると、特別職も職員も給料等の減額が14億ともされている。日本経済、特に中小企業は厳しい。市は先手を打ったようだ。経済を支えるため(負)のスパイラルにならないようにしてほしい。私たちは「サボテン券」を出したが、良かった(効果)。

14:13 会長の職務代理委員の指定について

条例4条3項により会長が指定 → 小林委員を指定。

14:14 議事録署名委員について→ 事務局より「丸山委員にお願いしたい」。

14:15 「諮問」 市長より、文書を読み上げ諮問を行う。(諮問後退出)

「市長および副市長の給料並びに議員報酬の額の改正、およびその時期について」

14:16 諮問の「写し」を各委員に配布。

14:17 事務局より資料説明。

市長・副市長並びに議員に関しての各種のデータにより現状、経過、他市町との比較等。

(資料はA3もの17ページ、A4もの9ページ)

14:57 質疑に入る。

14:57 質問 なし。

14:58 会長→ 質問がないようだから、各委員のご意見を(順に)お願いしたい。

14:58 委員 市長等、期末手当 3.35ヶ月分から 3.15ヶ月分へはいつからか?

行政 夏と冬で0、25ヶ月減らした。

委員 議員も？

行政 同じである。

委員 (議員は) 地域手当はない？

行政 ない。

委員 市長等については、職員と同じように下げられているので、据え置きで。

ただ、議員は期末手当でのみの「減」なので、。

委員 これ以上下げるのは忍びないのかなー。

委員 私も同意見。30万都市から見ると少ないのかな、という気もするが、他市も減ってくると、。

委員 据え置きでいいと思うが、この表に、来年「ゼロ」(議員は)とあるが？

行政 22年度は下がる、との意味。

委員 この会議は公開だと言うが、傍聴者はいるのか?(たった1名で、しかも、傍聴席の表示もなく、メモをとる机もなく、委員からは見えない状態であった。事務局より、1名いるとの発言あり)。もう、いい加減、他の市町との比較で考えるのはやめるべきだ。(名古屋ではないが)逆の発想も必要でないか。例えば、議員報酬は3割上げ、定数は3割減らすとか。もう、横並び意識はやめ、春日井発の新しい発想をすべきだ、あるのか。事務局の方で、何か考えはあるのか。

会長 昔からこういうやり方、発想でやってきている。私が、昔、ケローナとの姉妹都市のことで、「人口が少なすぎる(5万人)」として反対された。中国などは多いところはいくらでもある。行政は人口中心に考える。

行政 独自性(という考え)もあるが、職員の給与についても「均衡の原則」があるので、近隣の市町村との間との、同じような(均衡が必要との)考えがある。

行政 今までは、こういう資料に基づいてやってきた。

委員 決め方が硬直的にならないようにしてもらいたい。

委員 全国的に(資料)見るとやむを得ないのかな、と。据え置きで。

委員 据え置きでどうか、と思う。財政的に厳しいが、市長を減らすと、職員も減らさねば、となると、仕事に影響が出ることもあるかも。地域手当をなくしている所、県内・全国も多い。これをどうするか。これも含めて議論し

てほしい。

行政 平成18年度に調整手当から地域手当に変わった。22年度までに、国の指定した数値にするようにとの指導で改正してきている。本市は12月議会でやった。県内の状況は3月議会で様子がわかってくる。市長等の給与に、地域手当を含めることになれば、退職手当にも影響が出てくるので、これまで別になっていた、ということもある。

委員 「会」の開催を嬉しく思う。全国的には愛知県は低いのではないか。低くなってきているのは経済状況が悪いため。先の委員の発言に「議員減らしたら」との話もあったが、今回は減らすことになっている。その中で、アップ(報酬の)は難しい。時節柄据え置きにしてもらいたい。

委員 据え置きで結構かと思うが、議員の出席(議会への、名古屋市のような)への手当は?

行政 本市には無い。

会長 大方のご意見、据え置きとの、(意見)出たが、次回もやるのか? 何か資料等の希望はあるか?

委員 地域手当だが、次回に「県下の状況」わかるのか?

行政 現在、各市町村でいろいろ検討しているということは聞いている。だが明確ではない。

委員 個々に違うのか?

行政 個々に違う。地域内の企業の給与水準で(国は)決めているようだ。各市町村はいろいろ考えているようだ。

委員 他市の状況がわからない中での比較は難しい。判断し難い。

行政 次回までには、つかめない。4月以降となる。

会長 次回の日程は?

事務局 2/2(火) 14時からとしたい。

15:25 終了。

[ 市民視点からのコメント ]

※ 今年も(お墨付きを得んがために)形式的に開催された、というのが印象である。本市

の市民・生活者の視点からこれら(市長や議員の給与や報酬)を論議することはなかった。大体、そうした資料すら出ないのだから。一体市民の「平均給与・賃金」は幾らなのか? 市は責任をもって市民に明らかにすべきである。

※ 近隣の市町や全国の似たような(人口)の市のみのデータ(給与・報酬)を示し、比較することが「審議会の役割なのか?」。市民生活は置き去りだ。疑問と言わざるを得ない。

※ 特別職には、高い能力と識見のある方々が就いておられる筈である。市民を代表しておられる方々は、当然であるが、「矜持」をもって自らの判断で積極的に「給与や報酬」を提案していただくのが本来でないか。